

グループホーム無量荘 運営推進会議

令和7年11月19日(水) 14:00～

参加者：

紺野様(千渡地区民児協会会長)、丸山様ご夫婦(ご家族代表)、塩川様(ご家族代表)

深田様(鹿沼北地域包括)、五月女様(鹿沼市介護保険課)、石綱(福聚会副代表)、廣木、深谷

1) 事業所活動報告(別紙資料1)

前回の運営推進会議にて「大きな外出だけでなく、日々の生活の中に散歩や買い物などの気分転換が図れるような外出の機会があると良い。」とご意見いただいたことを受け、前回の運営推進会議後から日常の中にある気分転換を含む外出ということを職員と共に取り組んできたことをご報告する。

塩川氏：「私の母も栃木SCのBeサポーター企画に参加させてもらった。楽しんできた様子だったので、家族としてはそういったことを今後もどんどんやってもらいたいと思う。せっかく居室担当の職員がついてくれているのだから、担当者が立案し外出していくということをしていけばより個別的な支援になってくると思う。」

丸山様：「イベントや外出などによって感じられる雰囲気もあると思う。」

塩川様：「無量荘便り」を作成していくのであれば日々の食事の内容なども盛り込んでもらえると良いと思う。どんなものを食べているのか気になっている家族も多いと思う」

2) 運営推進会議における外部評価内容予定(別紙資料2)

今後運営推進会議にて検討していく外部評価の内容を一覧にしたものを委員の皆様配布する。

3) 運営推進会議を通した外部評価

・一人ひとりを支えるための事業所の多機能化

グループホームの多機能化としては法人で登録している「福祉有償運送」の事業を活用し外出や通院の支援を行える体制を整えている。また、法人としては身寄りのない方の対応として成年後見制度や事務委任契約を対応できる部署も設置している。一人ひとりのニーズに柔軟に対応できる仕組みを今後も構築していく。

紺野様：「介護施設が地域の方と連携を図りながら福祉の困りごとの相談に乗ってくれるというだけでも存在価値は大きい」

五月女様「どこの事業所においても外部評価のこの項目は苦慮していると思う。大きなことではなく、まずは小さなことでもよいのでご利用者のニーズに合わせて柔軟な対応をしてもらえるとういかなと思う。」

・地域資源との協働

現在 GH 無量荘と地域資源との協働については、往診をしてくれるお医者さんとの連携による訪問診療にて看取りまでの支援、訪問マッサージや訪問歯科など医療との連携を強化している。

その他、インフォーマルサービスとの連携としてフットマッサージケア（足浴や足の爪切りなど主に足のケアをしてくれる）を全国的な看護師のボランティア団体キャンナスさんに来てもらっている。

紺野様：「地域包括ケアシステムの考えでは地域づくりが大切な要素になってくる、地域のお年寄りとグループホーム無量荘のご入居者の笑顔が沢山作れるようにして言ってもらえればと思う。」

五月女様：「施設を身近に感じられるベースをつくって行ってもらえればと思う。」

4) その他

丸山様：「家族としては職員の名前と顔が一致していない。最初は挨拶してくれたんだと思うが、一度挨拶したくらいでは名前を覚えるには至らない。名札などが圧路一番わかりやすいが、介助をしていく上で邪魔だったり危険だったりということが理解できる。何らかの形で職員の名前と顔を家族に知ってもらい取り組みをしてもらえればと思う。」

紺野様：「千渡地区は人口が6千人ほどとなっている。幹線道路の高架下で子供たちが安全に遊べる場を作るための動きが出てきたりと活動が活発になってきている。福聚会の事業所にもどんどん参加してもらえればと思う。」

丸山様：「イベントなどを開催するときはシルバー大学のボランティアサークルなどを活用しても面白いと思う。色々なサークルがあるので様々な場面で利用できると思う。」

次回開催日時

令和8年1月21日（水） 14：00～

令和 7 年 1 1 月 1 9 日

グループホーム無量荘 活動報告

<ご入居者状況>

1 階 9 名

2 階 9 名

計 18 名

令和 7 年 7 月 15 日現在 満床

<研修報告・今後の研修予定>

10 月研修内容

① 非常災害時の対応研修

② 入浴介助技術研修

11 月研修

① 業務改善計画（BCP）に関する研修

② 感染症発生及び食中毒発生の予防及びまん延防止研修

12 月の研修予定

① 高齢者虐待防止研修

② 認知症及び認知症ケア研修

<活動報告>

・前回の運営推進会議にてご利用者の外出や楽しみについてご意見いただいたことを受け、現場とも共有し散歩や外出等の取り組みを強化しました。



資料 1



委員の皆様のご意見を現場と共有することで少しずつ意識が変わってきた部分があります。

また、こういった小さな取り組みを自分たちで留めておくのではなく、ご家族にも知って頂けるよう「無量荘便り」を定期的に作成することにしました。

委員の皆様にご意見いただいた事を施設運営に活かしていければと考えております。

特定非営利活動法人 福聚会

グループホーム無量荘

無量荘便り
令和7年秋号

敬老の日に合わせて行われたJリーグBeサポーターイベントに参加してきました



9月20日敬老の日が近いこの日、Jリーグ栃木SCの企画Beサポーターに参加してきました。

このイベントは、高齢者とプロスポーツ選手が交わる場を作る企画で、福聚会のご利用者が書いたメッセージが応援用の横断幕になったり、試合当日、選手入場時にご入居者と選手が手をつないで会場に入る。(エスコートシニア) というものでした。

当日は選手との入場のご協力いただいたご入居4名とカンセキスタジアムに行ってきました。

入場後は試合を観戦してきました。



無量荘の日常



ご利用者の生活習慣が継続できるよう今までの趣味や役割などを継続し穏やかな生活が送れるお手伝いをさせていただければと思っています。

那須のパン屋さんが無量荘に移動販売で来てくれました



こっとな秋祭り(11月16日)

輪投げ



駄菓子



避難訓練を実施しました

非常災害訓練



災害対策としてご入居者の皆様にもご協力いただきながら火災を想定した避難訓練を実施しました。災害に備えた訓練は重要であると改めて感じることでできた良い学びとなりました。

